

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2006/5/8 駐在員：山川 祐司

街並みの美しさの原因は...

ミシガン州立大学キャンパス沿いの朝の街路の風景ですが、豊かな緑もさることながら、日本ではおなじみの企業広告(看板)や自動販売機が見当たらないことに気付きます。この通りに限らず、州都ランシングの周辺を走っていると、街路樹、街灯、標識、信号等しかないシンプルな光景が延々と続くことが珍しくなく、道を覚えるのにとまどいを感じることもあります。そして、歩道を歩いてみて驚くのは、落ちていたゴミが非常に少ないということです。

日々の会話の中でそれとなく聞いてみると、都市計画の話から、清掃ボランティア、自動販売機設置による問題点、ディポジット制度(預託金払い戻しによる容器の回収)の導入まで、実にさまざまなポイントが浮かび上がってきました。

何気ない町の雰囲気も、多くの要因が絡み合うことによって醸成されていくのだということ、ふと考えさせられました。



少し行けばガソリンスタンドや商店にも面しているごく一般的な生活道路ですが、その美しさには心が洗われます。